

会 議 録

会議名	令和5年度第3回佐久市地域包括支援センター運営協議会
日 時	令和6年3月18日(月) 午後1時～2時20分
場 所	佐久消防署 3階 講堂
出席委員	<p>和田裕一 委員、菊池小百合 委員、岡田稔 委員、野村裕行 委員、 今牧健之 委員、磯貝源夫 委員、青木美佐子 委員、 江本年子 委員、宮澤文仁 委員 (9名/14名)</p> <p>(欠席) 小林光男 委員、池田鐘三 委員、柳沢喜美子 委員、 関澤加代 委員、森泉邦夫 委員</p>
事務局	<p>遠藤福祉部長</p> <p>高齢者福祉課：井出課長、吉江課長補佐、小山係長、菊池専門員、 渡辺、斎藤、山浦、佐藤</p> <p>臼田支所：高橋支所長、小林</p> <p>浅科支所：大工原企画幹、佐藤</p> <p>望月支所：丸山支所長、丸山</p> <p>佐久平・浅間地域包括支援センター：坂本管理者</p> <p>岩村田・東地域包括支援センター：神津管理者</p> <p>中込地域包括支援センター：佐々木管理者</p> <p>野沢地域包括支援センター：仁科管理者</p> <p>臼田地域包括支援センター：由井管理者</p> <p>浅科・望月地域包括支援センター：高橋</p>
傍聴人	なし
次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 協議事項 地域包括支援センターの周知活動について</p> <p>(2) 報告事項 地域包括支援センター評価事業 評価結果について</p> <p>(3) その他</p> <p>3 事務連絡</p> <p>4 閉会</p>

井出課長	【開会】
岡田会長	会長の岡田でございます。改めましてよろしくお願い申し上げます。当協議会は、地域包括支援センターの円滑かつ適正な運営、地域包括ケアの推進に向けて協議を行うものでございます。活発な協議となりますよう、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。それでは、次第に沿って進めて参ります。2の(1)協議事項「地域包括支援センターの周知活動について」事務局より説明願います。
事務局	【資料1説明】
岡田会長	事務局より説明がありましたが、地域包括支援センターの周知活動について、議論をしていきたいと思えます。委員の皆さんからご意見やご提案をいただくとともに、活発な議論となるよう、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターの皆さんからもご意見がありましたらお願いしたいと思います。はじめに、説明にもありました、佐久平・浅間包括と臼田包括の取り組みは、磯貝委員と青木委員も関わっておられるので、感想などを伺いたいと思えます。まず、佐久平・浅間包括の取り組みについて、磯貝委員よろしいでしょうか。
磯貝委員	高瀬地区では、区長会に佐久平・浅間地域包括支援センターの皆さんに来ていただき、センターの説明をしていただきました。また、区長の自宅にも訪問していただいています。周知のためにはこうした活動を粘り強く続けていただくことが重要だと思います。その上で、更に多くの方に周知するためには、浅科・望月地域包括支援センターで行っている「地域に出向く活動」というのが非常に効果的ではないかと思えます。地区へ出向いて住民の皆さん1人1人に直接話しかけることが重要であり、 <u>区長としても区のイベントや集会等の住民が集まる機会を利用して、センターの皆さんと協力しながら周知活動に取り組みたいと思えます。</u>
岡田会長	佐久平・浅間包括はこの取り組みを行ってみてどうでしたか。
坂本管理者	この取り組みは令和4年度から行っています。当初は区長の皆さんも包括のことを知らないこともあり、包括の訪問に対して怪しまれる区長さんもいましたが、この2年間で磯貝委員ご提案の役員会での周知

	<p>や、回覧板の活用について各区長にご了解をいただきました。その成果もあり、区長の声掛けにより立ち上げることができた地区サロンが2地区、認知症サポーター養成講座を開催できた地区が3地区ありました。区長さんから個別の相談が入ることも徐々に増え、着実に周知活動が実を結んできていることを感じています。今後も区長の交代等もあるので、この取り組みを継続して行い、地区サロンや認知症の方の見守り体制づくりに取り組んでいきたいです。今後、他の包括も各地区の定例会に参加させていただくためにはどうしたらいいでしょうか。</p>
事務局	<p>高齢者福祉課から事務局の総務課に相談していきたいと思います。磯貝委員からも区長会の中でこの取り組みについてPRしていただくとありがたいです。</p>
磯貝委員	<p>わかりました。</p>
岡田会長	<p>次に、臼田包括の取り組みについて、青木委員よろしいでしょうか。</p>
青木委員	<p>民生委員には「何かあれば包括につなぐ」という役割があり、それは日常的に行っています。その他に年2回、3者連絡会という臼田包括・市保健師・民生委員による連絡会があります。資料にあるとおり、その3者連絡会後に事例検討会を行いました。わざわざ電話をして包括につなぐ必要があるのか悩む事例もあるので、事例検討会を通じて包括の役割や機能を知ると同時に、様々なケースを知る中で「こういうレベルでもつないでいいんだ」、「こういうことが早期発見につながったんだ」というように各民生委員の気づきの場にもなり、非常に勉強になりました。また、それは次の3者連絡会に向けて、「この情報は3者連絡会で情報提供すればいいんだ」というような理解にもつながったので非常に効果的な取り組みであると考えています。</p>
岡田会長	<p>臼田包括はこの取り組みを行ってみていかがだったでしょうか。</p>
由井管理者	<p>今回、青木委員から依頼があり、3者連絡会に関する報告を行いました。特に、今年度は新任の民生委員が多いため、平成7年の在宅介護支援センターが設置された当時から不定期で行っていたものを定例化したものであるという経緯や目的、33地区からご相談いただいたケ</p>

	<p>ース2 2件の進捗状況の報告をさせていただきました。事例検討は、移動販売につながったケース、介護保険につながったケース、医療につながったケースについてグループワークを行いました。包括の業務内容や連携の重要性を理解していただき、同時に民生委員の日々のご苦労を知ることができました。今後も是非継続して実施させていただきたいです。</p>
岡田会長	<p>他の包括でも臼田包括と同様の取り組みは行っているのでしょうか。包括の皆さんいかがでしょうか。</p>
神津管理者	<p>岩村田・東地域包括支援センターでは、今年度、東地区の定例会に出席させていただき、意見交換や学習会を行いました。今後、臼田包括のように定期的に民生委員と意見交換や学習会を行う機会をいただきたいと思いますが、そのためには、地区の会長さんをお願いすればいいのか、お伺いできたらと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
青木委員	<p>臼田の場合は私の方から事務局をお願いしまして、事務局から臼田包括へつないでいただきました。</p>
事務局	<p>例年4月に各地区の定例会に伺い、民生委員の皆さんへ3者連絡会について説明しています。<u>来年度は、この臼田地区の取り組みを他地区にも展開していきたいとの説明を行っていききたいと思います。</u>その際は、各地区の意見・要望等もあると思いますので、各会長に相談をさせていただきたいと思います。</p>
岡田会長	<p>ありがとうございました。それでは、これらの取り組みを参考に、委員の皆さんからご意見やご提案をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
菊池委員	<p>今の発表から民生委員と地域包括支援センターの方々との連携が非常に大事だということを改めて感じました。併せて、佐久平・浅間地域包括支援センターの行った大型商業施設での周知のように、広い世代に向けた取り組みは、同時進行的に行っていくことが重要だと思います。私の所属が佐久大学ですので、<u>学生がボランティアとして包括の事業に参加させていただけると、高齢者との交流や地域包括支援センターの役割を知ることができるので、是非ご検討いただければと思</u></p>

	ます。
岡田会長	このことについて、皆さんからご意見はありますでしょうか。
山浦	学生さんに高齢者の方々が集まるイベントへ参加してもらうことで、世代間交流が生まれるので、「助け合いの地域づくりを推進していく」という観点からも、とても良いことだと思います。昨年度、いくつかの包括で学生ボランティアを募集した事例があると思うので、浅科・望月包括と野沢包括から紹介していただいてもよろしいでしょうか。
高橋	当包括では令和3年6月、佐久市・長寿社会開発センターと「まちの縁側講座」を実施しました。地域住民と街を歩きながら望月地区の「お宝」を発見することを目的としたイベントです。そこで県下初の公立通信制サテライト高校である長野西高校望月サテライト校を見学しました。この縁もあり、令和4年から年2回、同校の地域連携協働室を無償でお借りし、そこで「まちの縁側講座その後の会」を開催しています。校長先生からは、地域と協働した探究的な学びのカリキュラム「キャリア」の一環で「地域住民と何かしたい」との提案がありました。現在は同校の学生も「その後の会」に参加し、学生自ら地域に向けて意見を訴えることができている。今年2月に実施した「その後の会」では、高校の理念やカリキュラムについて先生に説明していただき、学生からは「地域の方としてみたいこと」を発信していただきました。「校舎内で地域の方とお茶をしながら交流をしたい」、「体育館でのスポーツ交流」、「地域で草取りや畑の手伝いをしたい」、「高齢者にスマホ教室をしてみたい」などの具体的な例が出ており、それを受けて地域住民からは、「うちの畑で草取りや畑仕事をお願いしたい」、「地区サロンでスマホの使い方を教えてもらいたい」など、高校生のしたいことと住民のしてほしいことのマッチングが始まっています。地元の望月高校が廃校となり、通信制高校というものがよくわからず、どのように学生と関わればいいのかわからなかったという住民からは、「とても良かった」との声をいただいています。今後も包括としてマッチングのお手伝いをしていきたいと思っています。
仁科管理者	野沢地域包括支援センターでは、「シニア向け簡単料理の集い」というイベントを開催した際に学生ボランティアの募集をしました。ちょうど高校生が夏休みの時期であり、6名に参加していただきました。イ

	<p>イベントを開催した背景としては、自宅で奥さんを介護していた男性が介護を終え、1人でお弁当を食べているという事例が多くあり、簡単料理教室を考案しました。また、世代間交流や栄養について学ぶ機会を作るということも狙いとししました。「サラダチキン」を使ったメニューを採用しましたが、高齢の方はサラダチキンのことを知らず、「こんな食べ物もあるのね」と勉強になり、高齢の方から学生へ「サラダチキンの包装は、そのまま捨てれば可燃ゴミになるけど、洗って乾かせば資源ゴミになる」との話や、これから東京へ進学するという学生からは、「初めて包丁を持って料理をした」、高齢者からは「うちに帰ってお母さんに作ってあげて」との掛け合いもあり、皆が元気になり、楽しい時間を過ごすことができました。包括としても、センターを幅広い世代に向けて周知することができました。第2回目は11月に企画しましたが、高校生は授業があるため学生の参加はありませんでした。先ほど菊池委員にご提案いただいた佐久大学から学生ボランティアを募集する場合は、どの窓口へお願いすればいいのか伺いたいです。</p>
<p>菊池委員</p>	<p>本学は「ボランティアアクションセンター」という部署があります。本日パンフレットをお持ちしましたので、後ほどお渡しします。また、短期大学でも「福祉ボランティア」という授業がありますので、地域の方々と活動できればと思っています。先ほど、サテライト校のカリキュラムのお話がありましたが、高校から本学へ地域での実践について依頼があります。このような様々な取り組みの中で地域包括支援センターの皆さんにも協力していただければ、学生も非常に勉強になると思います。是非そういった活動を実現できるとありがたいです。</p>
<p>岡田会長</p>	<p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>江本委員</p>	<p>保健補導員は年に1回、自主活動に関する発表会があります。私の自主活動では、いきいきサロンに保健師を呼び、血圧測定や健康に関する話をさせていただきました。今後は、センターの皆さんにも保健補導員の活動に参加していただいて、センターの周知をしていただければと思います。また、先日開催された佐久平ハーフマラソンに応援に行った時の話ですが、市民交流広場は芝生のとてもきれいな場所だと思いました。その公園を活用して「地域包括支援センターまつり」を開催すれば、様々な人が集まるので周知にもなると思いました。ハーフマラソンの時は、新聞に広告が入っていたので、それを見て私も行って</p>

	<p>みようと。望月には有線放送もありますので、そういうのも利用していけばいかがでしょうか。</p>
<p>佐々木管理者</p>	<p>江本委員からたくさんのお案をいただきましたが、事務局と検討していきたいと思います。中込地域包括支援センターでは、主に民生委員から依頼があり、地区サロンに参加しています。地区によっては保健指導員からも依頼があります。地区サロンでは市の保健師と一緒に血圧測定や健康相談、ミニ講座等を行っています。保健指導員の皆さんにセンターのことを周知させていただく機会をいただければ、保健指導員活動の際にセンターを活用しやすくなると思います。そのような機会をいただくにはどのようにしたらよいか伺いたいです。</p>
<p>事務局</p>	<p>先日、江本委員とお話しする機会があり、保健指導員の皆さんの中には包括のことをよく知らない人も多いたとの情報をいただきました。保健指導員の皆さんの会議等で江本委員から本日の会議内容について情報共有していただけるとありがたいです。保健指導員活動に関しては健康づくり推進課が事務局ですので、包括の周知の機会をいただけるように庁内連携を図っていききたいと思います。イベントの企画等についても、今後考えていきたいと思っています。</p>
<p>佐々木管理者</p>	<p>包括のことを知らない方に包括のことを知っていただく活動とともに、相談に来られた方に「包括に相談して良かった」と思っていたくことも重要だと考えています。包括はその地域の総合相談窓口として、日々地域の医療や介護の情報を収集して、相談者に提供できるように準備をしています。最近では、車椅子の方や足腰が弱ってきている方から、「バリアフリー環境が整っている、もしくは軽介助をしていただける歯医者にかかりたい」との相談を受けることがあります。歯科医師会さんの方で、各歯科医院のそういった情報があれば、いただくことは可能でしょうか。</p>
<p>野村委員</p>	<p>歯科医師会で訪問診療対応やバリアフリーのリストを作成してありますので参考にしてください。歯科医師会やサングリモ中込口腔歯科保健センターに問い合わせいただければ、資料をお渡しできます。一般の方にも提示していただいて構いません。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局で口腔歯科保健センターに確認の上、地域包括支援センターへ</p>

	資料を共有したいと思います。
岡田会長	他にいかがでしょうか。
磯貝委員	民生委員さんをお願いします。基本的には民生委員とセンターの皆さんとの連携が高齢者の支援の中心になると思います。高齢化が進む状況を鑑みると、区長会としても少し語弊がありますがお手伝いしたいと思っています。ただ1つの問題として、地域の高齢者の状況が、個人情報保護の観点から詳細がわからないというのが現状としてあります。以前、民生委員に高齢者実態調査の名簿の提供をお願いした経過があります。その際、「見せることはできるが、個人情報のため名簿は渡せない」といった回答をいただきました。区長としても情報がないとそれ以上踏み込めないということもあります。情報提供について少し検討していただければと思います。
青木委員	ありがとうございます。民生委員にとっても区長さんとの連携は非常に重要です。特に区長さんによっては、課題が3倍も4倍も解決することも、またその逆の場合もあります。臼田の場合は、支え合いマップを区長と民生委員の両方で共有しています。他の地区ではどうでしょうか。
磯貝委員	三河田区は民生委員がいない地区で、隣の区の民生委員が兼務をしています。その影響もあり、なかなか高齢者の情報があがってこない現状があります。
青木委員	臼田地区の場合は、区長と民生委員がお互いの守秘義務の中で情報共有ができています。三河田区の場合は、民生委員と連携がとりづらい状況にあると思うので、民協の会長と協議して解決していただければと思います。
遠藤部長	今の点ですが、市内240区に区長が240人、それに対して民生委員が230人ですので、磯貝委員が言われたように重複して担当していただいている民生委員さんもいます。民生委員さんに毎年実施していただく高齢者実態調査では、関係者への情報提供についてご本人に承諾をいただきます。その承諾をいただいた方々を中心に、災害時の個別避難計画の作成を市の方で進めています。先の台風で被害が多か

	<p>った地区から始め、今年度は46区、来年度は240区全てで作成していきます。避難の際に支援が必要と思われる方々の情報は、本人の承諾をいただいた場合には、その情報を提供してもいいということになっています。来年度、民生委員さん、区長さんに個別避難計画の作成をお願いする場合は、その方の情報提供をします。また、支え合いマップは、全240区について作成されています。その情報提供についても民生委員さん、区長さんの連携が取れるように事務局からもお話をさせていただきたいと思います。</p>
和田委員	<p>ここ数年はコロナ禍で様々な会合・イベントが、ほとんどできなかったような状況でした。今年度に入ってコロナも5類に移行したということで、イベントが少しずつ回復してきたところです。各地区では、文化的なイベントや保健補導員さんが行う介護予防体操が行われ、そこに参加しているのは若者から高齢者まで、介護認定を受けている方、自立の方も参加しています。このような全世代的なイベント等を活かし、ロールプレイや劇のような形で、「地域包括支援センターはこんな時に利用するんだよ」と高齢者の方にもわかりやすく、楽しく、印象に残るような面白さも含めてやらせてもらえたらインパクトがあると思います。全世代的に「地域包括支援センターという機関があるんだ」ということを少しでも頭の中、心の片隅に留めてもらえれば、何か困った時に役に立つのではないかと思います。</p>
岡田会長	<p>やはり65歳以上の高齢者になれば、自然にセンターを利用していかななくてはならない場合も出てきます。そういう意味では、先ほどの学生ボランティアの件もありましたが、若いうちから地域包括支援センターを知ってもらうことが重要だと思います。今の意見をもとに、これからも効果的な周知活動を検討していただけたらと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>次の議題に移ります。(2) 報告事項「地域包括支援センター評価事業評価結果について」事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>【資料2説明】</p>
岡田会長	<p>事務局より報告がありましたが、ご意見ご質問等ございましたらお願いします。</p>

青木委員	21ページ、臼田包括の「十日町通所型サービスBの設立に協力」とありますが、介護予防の観点から非常に重要なことだと思います。地域包括支援センターの業務は多岐に渡りますが、介護予防の事業所の立ち上げにも包括が関わることに驚きを感じました。具体的にどのような取り組みをされたのかお聞かせください。
由井管理者	臼田地区にはこれまで通所型サービスB事業所がなかったことから、立ち上げに向けて様々な検討をしてきました。通所Bはボランティアが主体で行うサービスで、こちらに通うことが有効な方をアセスメントしてつなげることが包括の役割です。佐久市全体の課題として、総合事業の各サービスの「すみ分け」が十分になされていないということがあります。臼田包括だけではなく、6包括で知識を共有しながら適正な支援を行っていきたいと思います。
青木委員	市主催の転倒骨折予防事業や公民館活動と通所型サービスBの連携も重要だと思いますので、今後の動きを注目していきたいと思います。
岡田会長	その他ご意見等ないようでしたら委員の皆さんありがとうございました。次に、(3) その他 について、委員の皆さんから何かございますか。
今牧委員	薬局でNet4Uの導入が進んでいない現状に悩んでいます。現在の導入状況と今後の加入促進に向けた取り組みについて教えていただければと思います。
事務局	市としても医療機関、介護事業所、訪問看護、地域包括支援センターなど様々な分野で推進をしていきたいと考えています。国の方針としても、電子機器を利用したスムーズな連携を重要視しているとのことです。今後、関係団体に対してご説明に伺いたいと考えています。
和田委員	ケアプランのデータ連携システムについてもNet4Uと同様に導入を促進していただきたいと思います。佐久福寿園でも導入しましたが、他の事業所が導入していないために使えない状況です。
宮澤委員	地域包括支援センターは、名前だけでその中身までよく理解していませんでした。こうして聞いてみると、我々シニアがお世話になること

	<p>が多いということがわかりました。シニアの大会やイベントにお話に来ていただいて、少しでもセンターのことを周知していただくと我々も助かります。介護だけではなく、先ほどの例では料理まで教えてもらえると。シニアクラブでは、包括の皆さんから色々意見を聞いて、より健康になって、長生きできるような方向でやっていきたいのでお手伝いいただけたらと思います。</p>
江本委員	<p>言語聴覚士のリハビリを受けたい場合や発達障害の方が差別偏見なく暮らせる地域を作るために、現在どのような取り組みがあるでしょうか。また、私の家族の話ですが、介護者が息抜きできる環境も必要だと思います。</p>
岡田会長	<p>言語聴覚士のリハビリは介護サービスがあると思うので、センターに相談していただくのが良いと思います。介護に関することであれば、まず相談してみるのが良いですね。</p> <p>それでは、3事務連絡 について事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>【事務連絡】</p>
岡田会長	<p>それでは、以上をもちまして、すべての協議事項が終了いたしました。委員の皆さんには、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。</p>
井出課長	<p>【閉会】</p>